

# 立山地獄谷のあだ討ち

——十返舎一九『越中楯山幽霊邑讐討』を読む

ふくえ

福江

みつる

充著

▼46判・並製カバー・160頁・定価一、六五〇円

2024年12月刊行



十返舎一九の知られざる小説『越中楯山幽霊邑讐討』の意識に翻刻・影印・解説を付した決定版。横恋慕からのストーリーカー、殺人事件に幽霊、詐欺、最後はあだ討ちで締めくくる。

十返舎一九がお得意の洒落な筆致で霊場・立山を舞台に描く、一大スペクタクル！

## 【目次】

はしがき

### 第一章 意識

- 一 『越中楯山幽霊邑讐討』の登場人物
- 二 『越中楯山幽霊邑讐討』の内容(意識)

### 第二章 解説

- 一 十返舎一九と越中国立山
- 二 書誌
- 三 十返舎一九の職歴
- 四 『越中楯山幽霊邑讐討』の巻頭言の翻刻と翻訳(意識)
- 五 『越中楯山幽霊邑讐討』の巻頭言からの分析
- 六 『越中楯山幽霊邑讐討』の蔵版目録に見る山東京伝の讐討ち物
- 七 『越中楯山幽霊邑讐討』の目次と内容構成および特徴
- 八 『越中楯山幽霊邑讐討』と鶴屋南北(四代目)の怪談物
- 九 立山地獄説話のなかの『越中楯山幽霊邑讐討』
- 一〇 立山幽霊村を題材とする作品

### ◆著者略歴

福江 充(ふくえ みつる)

一九六三年、富山県生まれ。一九八九年、大谷大学大学院文学研究科修士課程修了。北陸大学国際コミュニケーション学部教授。文学博士(金沢大学)。第9回日本山岳修験学会賞・第3回日本学術振興会賞・第24回とやま賞を受賞。平成一九年度富山県優良職員表彰。平成二六年度日本博物館協会顕彰。主な著書に『立山信仰と立山曼荼羅(岩田書院、一九九八年)』、『近世立山信仰の展開(岩田書院、二〇〇二年)』、『立山曼荼羅——絵解きと信仰の世界(法藏館、二〇〇五年)』、『立山信仰と布橋大灌頂法会(桂書房、二〇〇六年)』、『江戸城大奥と立山信仰(法藏館、二〇一一年)』、『立山信仰と三禪定(岩田書院、二〇一七年)』、『立山曼荼羅の成立と縁起・登山案内図(岩田書院、二〇一八年)』などがある。日本山岳修験学会理事、日本宗教民俗学会委員、越中史壇会委員、富山民俗の会幹事、日本民俗学会会員、真宗大谷派・善住寺住職。

一一 「楯山幽霊村」が実在し得たか否かについて  
おわりに  
あとがき

## 注文書

(書店印)	
様	ご担当
冊	福江 充著
法藏館	立山地獄谷のあだ討ち
定価一、六五〇円	十返舎一九『越中楯山幽霊邑讐討』を読む
住所	お名前
お電話	ISBN: 978-4-8318-6290-7 C1093

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

文学・文芸